



P o s s i b l e ④

勉強方法は色々あります。どれが正解というわけでもなく、自分に合った勉強方法が一番良いと思います。ただ、今行っている勉強方法ではなかなか成績が上がらない人いると思います。そんな時は、別の勉強方法を試してみるのも良いと思います。進路通信では、いくつかの勉強方法を順次紹介していきます。参考にしてみてください。

【短期間で共通テスト英語の点数を上げるコツ】

勉強法を変更するべきとは思っても、それが正しいか不安で一步を踏み出せない。共通テストまで刻一刻と時間が無くなっているにもかかわらず、成績が芳しくない。そんな受験生はいませんか？ 特に英語という教科は通説上、理科や社会などと違って急激に成績が上がることはない科目とされており、どうすればいいのかと頭を悩ませている受験生も多いはず。もう地道にやっていくしかないのか、と……。そこで今回、通説とは逆に2週間という短期間で共通テスト英語を爆上げる方法と、そこから考えられる共通テスト英語対策のコツを皆さんに紹介させていただきたいと思います！

【共通テスト英語の特徴】

共通テスト英語が一体どんなテストなのかを大雑把にみていくことにしましょう！

※共通テスト英語の配点と時間配分

昨年度から開始された共通テストでは、センター試験とは異なり、全問読解問題となりました。時間は80分で変わらず。第3問までを35分以内に終わらせないと遅いです。

第1問（読解問題、携帯メールのやり取り、ウェブサイト）・・・10点、8分

第2問（読解問題、評価表、オンライン掲示板）・・・20点、14分

第3問（読解問題、ウェブサイト上のQ & A、学校新聞）・・・15点、12分

第4問（読解問題、Eメールのやり取り）・・・16点、10分

第5問（読解問題、ニュース記事）・・・15点、14分

第6問（読解問題、記事とポスター、論説文）・・・24点、22分

の計100点満点の試験になっています。内容は昨年度例です。第2問までは1問2点の配点ですが、第3問以降は1問に3点が与えられています。

【問題量は普通、正確な読解を！】

皆さんの中には、共通テスト英語は時間いっぱいになるという人もいるかもしれませんが、問題量としては80分で十分な量だと思います。では、なぜ時間に間に合わないということが起こっているのでしょうか？ 原因は、複数の文章を短時間で解くということにより、脳がとても疲労してしまうことにあると思います。最後の大問になるにつれて長い文章になっていくのに、脳はますますヘトヘトという状況になることで読解スピードが落ちてしまっているのです。これが、80分で間に合わない原因だと思っています。そこで、正確な読解とそのスピードを維持するためには普段から文章を読むスタミナをつけておく必要があります。長い小説の入試問題を解くもよし、思い切って本屋で英語の小説を買って読むのも良いかもしれません。共通テスト英語は、疲れてしまったあなたを狙ってひっかけてくるので、注意しましょう。ここで、1つ疑問を持たれた方はいませんか？「そんなに疲れるなら最後から解けばいいじゃない」と。そのように思って実際に後ろから解



いてみると…、結果は失敗でした。むしろ余計に疲れてしまいます。原因としては、最初に重たい長文から入るので、いきなり脳が疲れるからだと思います。

【共通テスト英語を2週間で9割にした勉強法】

3年生になってはじめて受けた共通テスト模試（4月）の英語の点数が146点だったAさん。それから9月までに受けた共通テスト模試ではずっと140点くらいでした。もちろん成績が上がってないからといって3年生になってから英語の勉強をしていないわけではありません。夏休みにはほぼ毎日一題長文を解いていましたし、学校で毎週ある単語テストでは常に満点、文法の小テストもほぼ満点でした。文法の問題集も2周くらい終えていて単語も覚えようとノートに単語と例文をたくさん書いたりしていました。しかし、共通テスト模試の点数は全くといって良いほど上がってくれませんでした。

【2週間ひたすら音読をしてみた！】

勉強してもちっとも成績が上がらず困り果てたAさんは「英語の勉強の仕方を教えてください。」と志望校の大学生に直接頼みました。そこで出された宿題はターゲット1900を1週間で30回音読することでした。実際に音読をしてみると1周するのに8時間かかってしまい、結局一週間で3周しかできませんでした。せっかく宿題をだしてもらったにもかかわらずこなせず申し訳ないなと思いながら報告をし、翌週も引き続きターゲット1900をひたすら音読していました。1日中ずっと、音読しからない日もありました。そして迎えた2週間後の模試。言われた通りに単語帳を音読しまくった結果、センター英語で190点取ることができたのです。なぜこんなにも伸び悩んでいた英語が音読だけですぐに点数が上がったのでしょうか？その説明を以下にしていきます。それは、小テストで満点を取っていたはずの単語をあまり覚えていなかったことでした。つまり実は覚えてつもりだった単語が、共通テスト模試などを受ける時点では何も残っていなかったということになります。単語が頭に入っていなければ、共通テストが解けるわけがありません。音読することで、すでに「字面上は」見慣れた英単語をもう一度新鮮な感覚で見直すことになりました。視覚に加えて聴覚でも単語を覚えることで、脳が単語を覚えるべき重要な情報だと認識してくれたのですね。すると、模試の長文で出てきて意味が分からなかった単語を、模試本番の感覚さながらに見つけることができたのです。また、音読は単語だけでなく例文の方も全部音読していました。それにより、これまで漫然と理解していた主語と述語を探すのが早くなり、前置詞の意味を以前よりも理解できるようになる、という副次的な効果もあったのです。

【センター英語攻略のための単語帳の使い方】

では実際にみなさんが単語帳を使うときに、どのように使えば共通テスト英語の点数を上げることができるのでしょうか？以下、具体的に単語帳の使い方についてみていくことにしましょう。まず例文を完璧に理解するために、疑問に感じたところはすぐに調べて書き込んで解決してから音読はスタートします。読み方の分からない単語があれば必ず調べて読み方を確認します。これで発音・アクセント問題で点を落とすことはありません。音読は自分が覚えていると確信が持てるまで、何度も繰り返します。単語帳に書いてあることは基本的にすべて音読をします。覚えている単語は音読しても時間の無駄なので、音読をするところにはオレンジとイエローの蛍光ペンでまず線を引きます。そしてある程度音読して覚えたものには読まなくていいよう×印をつけます。このようにすることで、徐々に覚えているものが増え、×印も増えていきます。すると、一周するのにかかる時間も少しずつ減っていき、英単語に割く時間の負担が減っていきます。何度も単語帳を周回することで、その単語帳を完璧にでき、結果として自分の単語レベルが自然と入試に対応しているようになるのです。

